

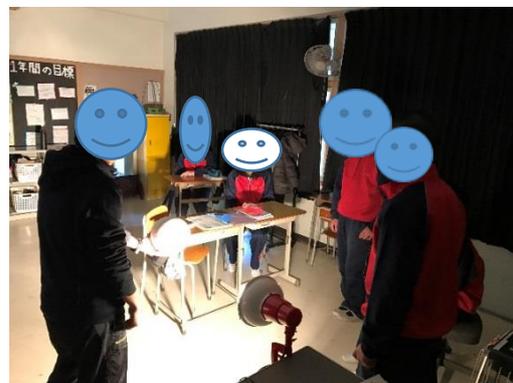
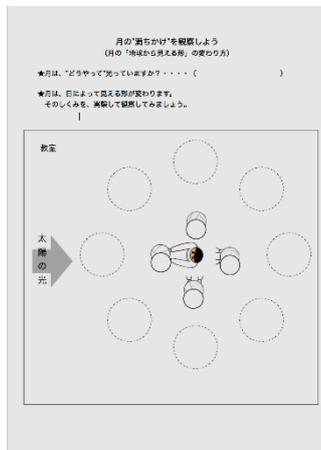
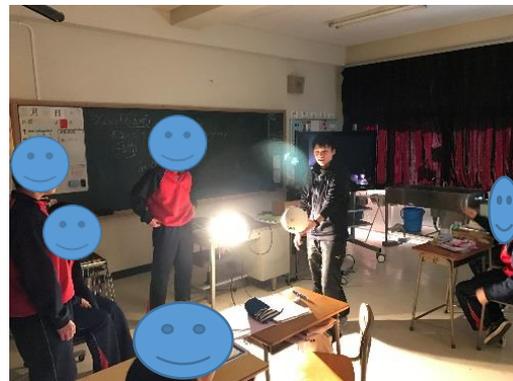
教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
月の満ち欠け実験 ～月と太陽～	高養	理科 2年 (理科)	猪内麻紀子

<ねらい>

- 月の満ち欠けの仕組みを知る。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- 遮光カーテンのついている教室を使用し、暗室を作る。
- 机などに設置したライトを太陽、白いボールを月、自分を地球と見立てる。
- ボールを自分の正面に持ちながらライトの正面に立ち、その場でゆっくり回転する。
- 四方向又は八方向で、ボールの光り方を観察し、記録する。



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- イメージしにくい月の光り方（「太陽の光を受けて光る」「光っている所だけが見え、見えていないところは陰になっている」）が、実験によって解りやすくなった。
- グループに分けたり、生徒達自身に行わせたりすることで、積極的に興味を持って取り組む姿勢が見られた。

<その他（材料、費用、購入先等）>

光量の強いライト、白いボール（バレーボール、スチロール球）・・・学校の物品